

山口情報芸術センター [YCAM] 展覧会

contact Gonzo+ YCAMバイオ・リサーチ

wow, see you in the next life.

／過去と未来、不確かな情報についての考察

2019年10月12日(土)～2020年1月19日(日) 10:00～19:00

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

身体はどこから来て、どこへ行くのか

アーティスト集団contact GonzoとYCAMバイオリサーチによる展覧会

山口情報芸術センター [YCAM] では、アーティスト集団contact Gonzo (コンタクトゴンゾ) とYCAMバイオ・リサーチによる新作インスタレーションを発表する展覧会「wow, see you in the next life. (ワオ、シー・ユー・イン・ザ・ネクスト・ライフ) /過去と未来、不確かな情報についての考察」を開催します。

contact Gonzoは、肉体を即興的に激しくぶつ合うパフォーマンスを中心に身体表現を追求してきたアーティスト集団。国内外の美術館や劇場などで現代美術と舞台美術を横断する作品を発表しています。

本展では「身体はどこから来て、どこへ行くのか」という問いを出発点に、YCAMが近年取り組んでいるバイオテクノロジーの知見を生かし、DNAなどによる遺伝的継承と、物語や伝承などによる文化的継承といったアプローチから、新作インスタレーション作品を制作／発表します。

身体を起点に、過去や未来の世代との経験の継承について思考を巡らせる機会となる本展は、生命の定義が書き換えられつつある現代における「自らの生」を捉え直す新たな視点を提示するでしょう。ぜひご参加ください。



上：contact GonzoとYCAMバイオ・リサーチのメンバー（2018年）

下：contact Gonzoが過去にYCAMで発表した作品《hey you, ask the animals./テリトリー、気配、そして動作についての考察》(2013年)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ】

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp ウェブサイト: www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

気鋭のアーティストとYCAMによる、バイオテクノロジーの可能性の探求



「YCAM InterLab Camp vol.3: パーソナルバイオテクノロジー」での contact Gonzo によるエクササイズの様子 (2019年3月/撮影: 田邊アツシ)

本展アーティストの contact Gonzo は、ときに激しく、ときに寄り添うように身体を接触させる即興的なパフォーマンスで知られるアーティスト集団です。現代美術と舞台芸術を横断しながら国内外の美術館や劇場などで作品を発表しており、YCAM では2013年に、ツアー型パフォーマンスとインスタレーションによる《hey you, ask the animals./テリトリー、気配、そして動作についての考察》を発表。山の斜面を滑り降りたり、山中を駆け巡ったりといった自然の中での特殊なアクティビティから生まれる、非日常的な身のこなしや知性のあり方を作品を通して提示し、大きな話題を呼びました。

本展で contact Gonzo とコラボレーションをおこなう YCAM バイオ・リサーチは、バイオテクノロジーの応用可能性を模索する YCAM の研究開発プロジェクトです。遺伝子組み換え技術など、高度なバイオ・テクノロジーを利用するためのコストが急速に低価格化する状況を背景に、2015年に YCAM 館内に実験用のスペースを開設。以降、外部の研究者やエンジニアらの協力を得ながら、バイオテクノロジーに関するリテラシーを高めるワークショップや展示コンテンツの開発など、主に教育的な方面からのアプローチを重ね、知見を蓄えてきました。

本展では「身体はどこから来て、どこへ行くのか」という問いを出発点に、両者が共同で1年以上に渡る実験やリサーチを行いながら、新作インスタレーション作品を制作。身体を軸に、アートとバイオテクノロジーが交錯する、かつてない作品が生み出されます。

■ contact Gonzo

2006年に垣尾優と塚原悠也により結成。contact Gonzo とは団体の名称であると同時に実践する方法論の名称でもある。肉体の衝突を起点とする独自の牧歌的崇高論を構築し、即興的なパフォーマンス作品や、映像、写真作品の制作、マガジンの編集などを行い、国内外の企画展や、ダンスフェスティバルなどに幅広く参加。また自らで事務所を作り、様々な果物を時速100キロで身体に打ち込む行為や山中の斜面を滑り落ちたりもする。現メンバーは塚原悠也、三ヶ尻敬悟、松見拓也、NAZEの4名。メンバーは個々においてもそれぞれの分野で作品を制作している。



■ YCAM バイオ・リサーチ

近年、急速に一般化が進むバイオテクノロジーの応用可能性を、芸術表現や教育、地域など多様な切り口で模索し、提案していくプロジェクト。2015年からバイオテクノロジーを扱うための機材や設備を備えたバイオラボのスペースを館内に立ち上げ、研究開発を開始。これまで、「森のDNA図鑑」や「ゲノム弁当」など、国内外の様々なコラボレーターとプロジェクトを実施している。

「身体性の継承」を遺伝的、文化的側面から捉える新作インスタレーション



contact Gonzo《サンダー&ストーム バイオ株式会社》
(2017年/撮影:永禮賢)

本展で発表する、展覧会名と同名の新作は、私たちが生きていく中で獲得した身体性はどのように後世に継承されていくか、その可能性に着目したインスタレーション作品です。

作品制作の過程で実施した、遺伝に関するバイオテクノロジーの最新の研究動向から、山口の民間伝承までを対象としたリサーチをベースに、contact Gonzoのメソッドを組み合わせることで、フィジカルな経験を自身の身体に蓄積できる特殊な装置群を開発。通常は劇場として用いられているYCAMのスタジオAの内部に展開し、体験型インスタレーション作品を構成します。来場者は、これらの装置群を実際に体験しながら、自らの身体を起点に経験の継承について考えを深めていきます。

本作を通じて、体験者それぞれが過去や未来の世代とのつながりの中で、自らの生を改めて見つめ直すような契機を生むことを試みます。

多彩なプログラムも開催

また会期中には、作品空間内でcontact Gonzoによるパフォーマンスを開催するほか、館内では展覧会の制作過程で実施したリサーチの内容を紹介する展示をおこなうなど、展覧会を多角的に捉えるためのプログラムも開催。さらに会期前から会期末にかけて、contact Gonzoメンバーの塚原悠也によるSF小説などを所収したマガジンを3回発行します。作品という枠組みを超えて、アートとバイオテクノロジーの融合という、それぞれの領域の最前線に触れる取り組みになります。

開催概要

contact Gonzo + YCAM バイオ・リサーチ展
wow, see you in the next life.

／過去と未来、不確かな情報についての考察

2019年10月12日(土)～2020年1月19日(日) 10:00～19:00

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

入場無料

休館日：火曜（10月22日は開館）、10月23日、年末年始（12月29日～1月3日）

10月12日は「オープニング・パフォーマンス」を開催するため、17時で会場を閉場します。そのほかイベント開催時の対応についてはウェブサイトをご確認ください。

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

助成：2019年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業、公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、公益財団法人朝日新聞文化財団

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連プログラム

オープニング・パフォーマンス

2019年10月12日(土) 19時開演 会場：スタジオA

無料

クロージング・パフォーマンス

2020年1月19日(日) 時間未定 会場：スタジオA

無料

YCAM 館内ツアー

2019年10月12日(土)、13日(日)、11月15日(金)、17日(日)、1月18日(土)、19日(日)

各日 11:00～12:00 (11月15日は18:00～18:40、17日は13:00～13:40)

無料(要申込) 定員：30名

ギャラリーツアー

2019年10月14日(月・祝)、11月23日(土・祝)、24日(日)、30日(土)、12月1日(日)、7日(土)、8日(日) 各日 14:00～16:00

無料(要申込) 定員：10名

YCAM オープンラボ2019

2019年11月16日(土)、17日(日) 会場：ホワイエ

無料(要申込)

YCAM バイオリサーチ [リサーチ・ショーケース]

2019年10月12日(土)、13日(日)、11月16日(土)、17日(日)

2020年1月18日(土)、19日(日) 会場：コミュニティ・スペース

無料

■ 関連プログラムの申込方法

下記ウェブサイト内に用意された申込フォームに必要事項をご記入ください。

ウェブサイト：

www.ycam.jp